

出張報告

1. 訪問者： 濱崎・團・笹塚 (M2/海洋大) ・山田 (M2/海洋大)
2. 訪問国・機関名： マレーシア・マレーシア大学サバ校
3. 相手国対応責任者： Mohammad Tamrin Bin MOHAMAD LAL 博士
4. 訪問日程： 2018 年 12 月 3 日～6 日
5. 活動内容：

1. 12 月 5 日

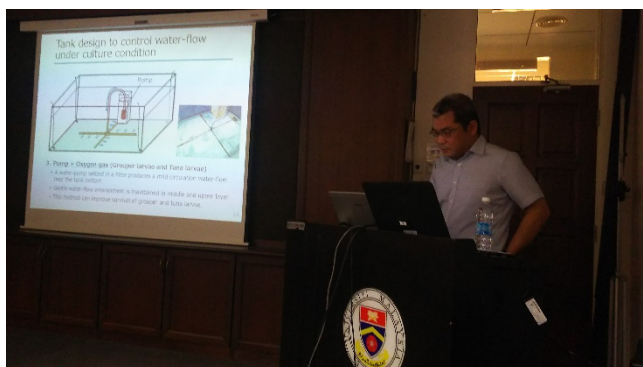
午前は MOHAMAD LAL 博士と、また午後には KIAN 博士を加えて Project meeting and Discussion を行った。なお、今回の海洋大学メンバーの訪問に合わせ、本プロジェクトに参画しているインドネシアのゴンドール水産研究所の Ibunu Rusdi 氏に現地を訪問いただき、Project meeting and Discussion に参加いただいた。



Meeting では、本年度の計画について、再確認するとともに、進捗状況について意見交換した。また、團准教授がノコギリガザミ類へ適用可能な新たなカニ類幼生の飼育手法について説明するとともに、種苗生産でボトルネックとなっている真菌類の感染防除に向けた親ガニの養成手法について、飼育施設を実際に見ながら種々意見交換した。さらに、Ibunu Rusdi 氏からは、インドネシアにおけるノコギリガザミ類の種苗生産技術開発に携わった経験から、親ガニ養成や幼生飼育に関する種々のアドバイスをいただいた。

2. 12 月 6 日

午前、サバ校の Aquaculture コース 3 年生並びに現地教員に向けて、團准教授が「Recent progress in larval culture technology」と題して講義を行った。学生は興味深く聴講し、活発な質疑応答が行われた。また、午後は前日同様に Project meeting and Discussion を実施し、今後の活動に向けた意見交換を行った。



6. 問題点、改善点、提案等:

特になし